

もっと安心で安全な社会へ
 ～ 日本の笑顔と活気を取り戻すために 私たちができること ～

No. 11-037

2011年10月19日

**日本損害保険協会会員各社は、
 リサイクル部品を活用することを宣言します。
 -あわせてリサイクル部品活用推進キャンペーンを実施します。-**

社団法人 日本損害保険協会(会長 隅 修三)の会員各社では、自らがリサイクル部品を積極的に活用することを周知・徹底すべく、リサイクル部品の活用を宣言します。

これにあわせて、日本損害保険協会では、関係省庁の後援および関係団体の協賛を得て、自動車ユーザーへ自動車リサイクル部品の活用推進を訴えるためのキャンペーンを11月から実施します。

また、取り組みの一環として、自動車ユーザーおよび修理工場を対象としたリサイクル部品に関する意識調査を取りまとめました。調査では、リサイクル部品を使ったことのあると答えた1,073人の87.0%が「使用したことに満足した」と答えています。

リサイクル部品活用宣言および会員会社の取り組み

日本損害保険協会会員各社は 地球環境保護のため 社有車の修理に積極的に リサイクル部品を活用します。

リサイクル部品活用宣言に伴い、会員各社では次の取り組みを行います。

- ・広報誌や印刷物等でのリサイクル部品活用の啓発
- ・イントラネット(企業内ネットワーク)を用いた社員や代理店等へのリサイクル部品活用の啓発
- ・企業の自動車保険契約者など、リサイクル部品活用のメリットがより大きい顧客への案内
- ・契約者向け封書等へのリサイクル部品活用推進の案内 など

リサイクル部品活用推進キャンペーンの概要

- ・期間:2011年11月1日～12月31日
- ・目的:リサイクル部品を活用することで、廃棄物を減らすと同時にCO₂の排出量を削減できることを広く訴えます。
- ・チラシの配布:リサイクル部品の安全性・品質保証を周知するチラシを配布します。
- ・懸賞の実施:当協会ホームページ(<http://recycle-parts-suishin.jp/>)や応募はがきでご応募いただいた方の中から抽選で合計40名(一般30名、修理業者10名)の方にQUOカード、5,000円分をプレゼントします。プレゼントの当選は賞品の発送をもって発表にかえさせていただきます。(2011年12月31日締め切り。当日消印有効)



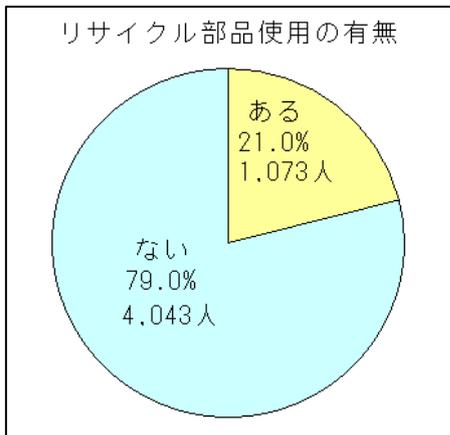
- ・後援:経済産業省 国土交通省(予定) 環境省
- ・協賛:日本自動車車体整備協同組合連合会 社団法人日本自動車整備振興会連合会 社団法人日本自動車販売協会連合会 一般社団法人日本自動車リサイクル部品協議会 社団法人日本中古自動車販売協会連合会

リサイクル部品活用に関する意識調査結果の概要(調査期間:2011年3月15日~6月15日)

■自動車ユーザーを対象とした調査(回答者 5,116名)

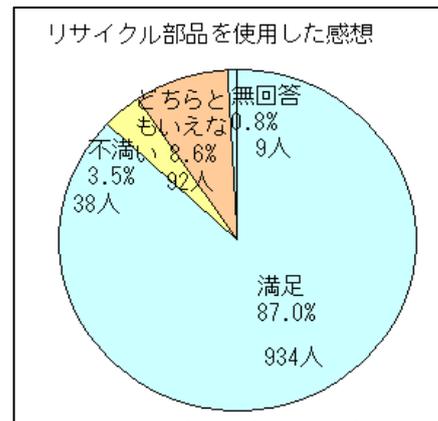
- ・リサイクル部品を使ったことがあると答えた1,073人の87.0%が「使用したことに満足した」と答えています(〈図1〉〈図2〉、別添一般ユーザー回答編4ページ参照)。
- ・満足した理由では「修理費が安かった」が85.6%と一番多く、次いで「品質が新品と変わらなかった」が51.2%となっています(〈図3〉、同5ページ参照)。
- ・リサイクル部品利用者からは「値段が約3分の1に抑えられ非常に助かった」「性能的に再利用できるものは、どんどんリユースしてほしい」といった声が寄せられました。

〈図1〉



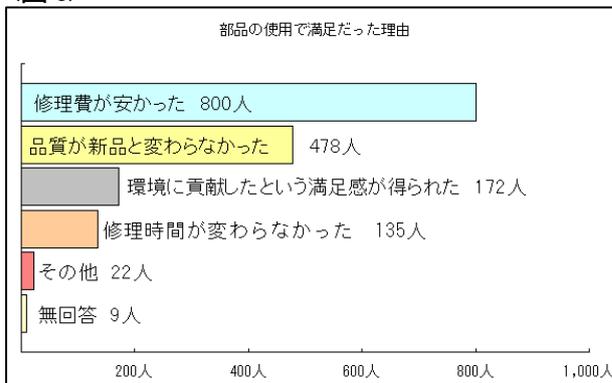
・これまでリサイクル部品を使ったことがあるのは、回答者の約2割である。

〈図2〉



・リサイクル部品を使ったことのある回答者の87.0%が「満足」と回答。一方、3.5%の方が利用した感想として不満を感じている。

〈図3〉



・満足している理由で一番多いのは、「修理費が安かった」であり、その次に回答が多かったのが、「品質が新品と変わらなかった」となっている。

■整備・修理業者を対象とした調査(回答者 290名)

- ・リサイクル部品を使用した車のうち、新車登録後「3年以上9年未満」のものが77.5%、「3年未満」が9.8%となっています(別添自動車整備・修理業者回答編4ページ参照)。
- ・「新品部品での利用よりも経済的な事とCO2排出量の削減に役立つという説明をすると99%のお客様がリサイクル部品やリビルト部品での修理を希望される」といった声が寄せられました。

■本件に関するお問い合わせ先■

生活サービス部安全安心推進グループ 高橋保雄 山川奈津子 (TEL 03-3255-1294)
総合企画部 広報室 樋川 明則、山本 真史 (TEL 03-3255-1213)

※本資料は、日銀記者クラブ、経済産業記者会、国土交通記者会、環境省記者クラブに同時に配布しております。

— 環境改善は一人ひとりの意識が大切です —